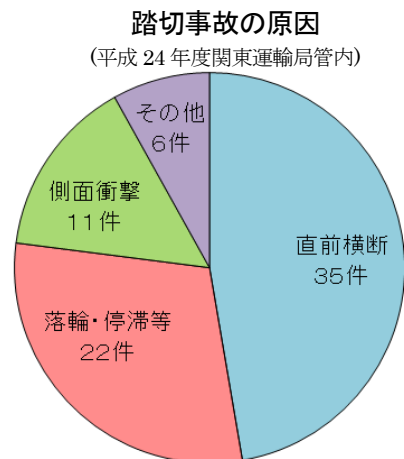
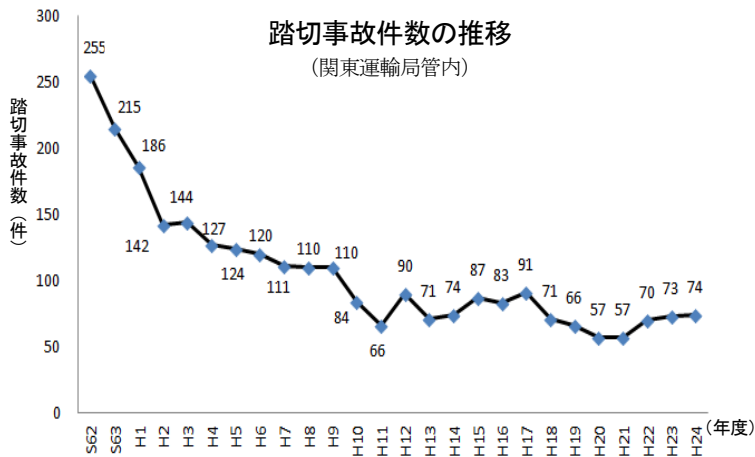


踏切事故防止へのご協力をお願い

踏切事故件数は、踏切の廃止や警報機・遮断機の設置などの安全対策の推進によって長期的には減少傾向にあります。近年はほぼ横ばい傾向で重大な事故も発生しています。

また、事故原因については、直前横断、落輪・停滞、側面衝撃等が9割以上を占めており、踏切の安全通行が求められています。



【踏切通行時の注意点】

●踏切横断前に行いましょう！

- ・一旦停止 ・左右の安全確認
- ・自動車は、前方のスペースを確認！ ・通行止め、通行車種規制等の交通規制がないか確認！

警報機が鳴り始めてからの横断は絶対にやめましょう！！

●踏切内で停滞したときは！

→＜非常ボタンあり＞

踏切内で車が動かなくなった場合など、列車を止める必要がある場合は、非常ボタンを押して列車に通報して下さい。

→＜非常ボタンなし＞

発煙筒などを使用して列車に通報して下さい。

●自動車で踏切道内に閉じ込められたときは！

慌てずゆっくり前進して下さい。遮断かんは車で押せばはね上がります。

【踏切事故事例】

J R東海道線の列車脱線事故（自動車通行禁止踏切に進入）

平成25年4月7日、神奈川県茅ヶ崎市のJ R東海道線茅ヶ崎駅近くの踏切道（遮断機、警報機付き）において、線路上に立ち往生している軽乗用車と列車が衝突し、脱線した。

この踏切は、自動車の通行ができなかったことになっていたが、軽乗用車が無理に立ち入り脱輪した。

この事故により、軽乗用車に乗車していた人は避難して無事だったが、列車の乗客1名が負傷した。



山陽電気鉄道の列車脱線事故（踏切の出口スペースが不十分）

平成25年2月12日、兵庫県高砂市の山陽電気鉄道の本線荒井駅近くの踏切道（遮断機、警報機付き）において、特急列車と自動車運搬用トラックが衝突し、脱線した列車が駅ホームに衝突した。

トラックから見た踏切出口側は、交差点となっており、事故当時、交差点と踏切道の間に信号待ちの自動車が1台停車していた。

この事故により、列車の運転士、乗客、トラックの運転手等の計18名が負傷した。

